

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330341103	多文化共生保育・教育論	伊藤久美子・小倉弘之・栗村正仁			2	選択	2前期前期

科目の概要
 近年、日本の保育・幼児教育の現場では多様な文化背景をもつ子どもたちが増加しつつある。本科目は、本学の教育目標である「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神に基づき、多様な文化背景を持つ人々に対して慈しみの心を持って接する態度を養う（DP1）。近年、愛知県を中心に日本の保育現場では外国にルーツを持つ子どもが急増しており、保育士・幼稚園教諭として不可欠な専門的知識・技能の修得は喫緊の課題である（DP3）。講義では、ニュージーランドの保育指針「テ・ファリキ」やモンテッソーリ教育等の世界の保育実践を比較研究し、多様性を尊重するインクルーシブな保育の在り方を構築する。また、社会人基礎力やpisa型学力、直観力を統合的に活用し、現場で生じる多文化間の課題に対して柔軟かつ自然体で対応できる能力を身につける（DP5）。さらに、現代の保育職に求められる素養として、AIを活用した多言語翻訳や情報収集を行い、言語の壁を越えた課題解決に繋げる手法を学ぶ。小学校、中学校で校長及び教育委員会で指導主事としての指導経験（小倉）、幼稚園教諭として保育現場で勤務した経験（伊藤）を活かし、事例をもとに具体的な場面の指導や子ども理解に関する講義・演習を行う。これらの学びを通じ、将来、職場や地域・国際社会の多文化共生という課題解決に主体的に貢献できる保育者の育成を目指す（DP7）。

学修内容	到達目標
① ニュージーランドの保育指針「テ・ファリキ」や世界の保育実践（モンテッソーリ、レッジョ・エミリア等）を学び、多文化共生保育の概念と多様性尊重の理念を理解する。 ② 世界の子育て支援の現状と、日本における在日外国人の動向や福祉ニーズ、行政の支援体制を把握し、地域社会における多文化共生の課題を整理する。 ③ 言葉や宗教、生活習慣に配慮した具体的な支援方法を学ぶ。また、園での支援から小学校への接続に向けた連携の在り方を検討する。 ④ 海外保育現場での学びを想定し、ITスキルを活用した情報収集や支援ツールの作成、主体的な活動プランのコーディネートシミュレーション形式で行う。	① 世界の教育思想と日本の現状を比較し、多文化共生保育の意義を自らの言葉で説明できる。 ② 行政の仕組みや福祉ニーズを理解し、地域・国際社会の一員として必要な支援の在り方を提案できる。 ③ 外国籍児特有の配慮事項（言語・宗教等）を理解し、就学前教育から小学校接続までを見通した具体的な支援策を立案できる。 ④ ITスキルや専門知識を統合し、海外研修や現場実習に活用できる主体的な活動計画を作成できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	多文化共生の実現に向け、海外研修や実習を見据えた活動計画を自ら進んで立案し、職場や国際社会の課題解決に積極的に貢献する態度を養う。
	働きかけ力	
	実行力	修得した専門知識やITスキルを統合し、外国籍児への具体的な支援策や活動プランをシミュレーション形式で着実に遂行・実践する力を身につける。
考え抜く力	課題発見力	在日外国人の動向や福祉ニーズを把握し、多文化間の交流や保育現場で生じている支援上の課題を多角的な視点から見出す力を養う。
	計画力	就学前教育から小学校接続までを見通し、言語や宗教等の配慮事項を組み込んだ具体的かつ実効性の高い支援計画を論理的に策定する。
	創造力	世界の保育実践を比較検討し、既存の枠組みに捉われない、多様性を尊重するインクルーシブな保育の在り方を柔軟な発想で構築する。
チームで働く力	発信力	世界の教育思想と日本の現状を比較した分析に基づき、多文化共生保育の意義や自らの考えを、多様な相手に対して言葉やツールを用いて明確に伝える。
	傾聴力	四大精神に基づき、多様な背景を持つ子どもや保護者の声に真摯に耳を傾け、慈しみと共感を持って相手の意図や状況を深く理解する態度を養う。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	保育者としての倫理観を持ち、多言語対応におけるAI活用等の現代的リテラシーを適切かつ誠実に運用しながら、社会の一員としての規律を守り行動する。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

他科目との関連、資格との関連
 多文化共生保育・教育論は、学科専門科目の幼・保領域「保育の内容・方法に関する科目」である。また、保育士・幼稚園教諭一種免許状に必要な選択科目であり、「短期海外保育留学」の事前教育を兼ねている。

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習・復習学習を行い、積極的に講義に参加すること。 ・ 知識や技術の修得だけでなく、世界の教育思想と日本の現状を比較することで、幅広い視野を持った保育者としての将来像をもって授業に参加すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで授業に参加すること。 ・ 課題等は期限を守って提出すること。 ・ 無断欠席をしないこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	小テスト		0	①				
				②				
				③				
				④				
	レポート		55	①	✓			①ニュージーランドのテファリキに基づくラーニングストーリーのレポート（10点）
				②	✓			②世界の教育方法について・多文化共生への行政の取り組みについてのレポート（30点）
				③	✓			③在日外国児童生徒（小学校）の学修及び英語の指導についてのレポート（15点）
				④	✓			・pisa型学力の評価方法について 知識の獲得（多文化共生保育・教育の概要の理解・用語の理解）：30% 知識の活用（多文化共生保育・教育の具体的な方法の知識と試み）：40% 知識の解決（多文化社会における保育・教育の問題提起の事例と具体的な提案）：30%
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		35	①	✓			①海外保育留学プランの作成（15点）	
			②	✓			②プレゼンテーション（20点）	
			③	✓			・pisa型学力の評価方法について 知識の獲得（多文化共生保育・教育の概要の理解・用語の理解）：30% 知識の活用（多文化共生保育・教育の具体的な活用の知識と支援の活用の試み）：40% 知識の解決（多文化共生保育・教育における課題の事例と具体的な提案）：30%	
			④	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）多文化共生の実現に向け、海外研修や実習を見据えた活動計画を自ら進んで立案し、職場や国際社会の課題解決に積極的に貢献する態度で学習できる。 （実行力）修得した専門知識やITスキルを統合し、外国籍児への具体的な支援策や活動プランをシミュレーション形式で着実に遂行・実践することができる。 （課題発見力）在日外国人の動向や福祉ニーズを把握し、多文化間の交流や保育現場で生じている支援上の課題を多角的な視点から見出すことができる。 （計画力）就学前から小学校接続までを見通し、言語や宗教等の配慮事項を組み込んだ具体的かつ実効性の高い支援計画を論理的に策定できる。 （創造力）世界の保育実践を比較検討し、既存の枠組みに捉われない、多様性を尊重するインクルーシブな保育の在り方を柔軟な発想で構築することができる。 （発信力）世界の教育思想と日本の現状を比較した分析に基づき、多文化共生保育の意義や自らの考えを、多様な相手に対して言葉やツールを用いて明確に伝えることができる。 （傾聴力）四大精神に基づき、多様な背景を持つ子どもや保護者の声に真摯に耳を傾け、慈しみと共感を持って相手の意図や状況を理解することができる。 （規律性）保育者としての倫理観を持ち、現代的リテラシーを適切かつ誠実に運用しながら指定された課題などの提出を順守できる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀)</p> <p>①世界の教育思想を深く分析し、日本の現状と対比させた上で、多文化共生保育の意義を独自の視点から極めて説得力のある言葉で発信できる。</p> <p>②行政や地域の課題を多角的に捉え、地域や国際社会のニーズに即した、AI等の現代的リテラシーを活用した革新的で実効性の高い支援を提案できる。</p> <p>③文化背景を深く洞察し、就学前から小学校接続までを見通した、個別最適で極めて論理的な支援計画を策定できる。</p> <p>④高度なITスキルと専門知識を統合し、海外研修等で即戦力となる、極めて主体的かつ完成度の高い活動プランを構築できる。</p> <p>A (優)</p> <p>①世界の教育思想と日本の現状を適切に比較し、多文化共生保育の意義を自らの言葉で明確に説明できる。</p> <p>②行政の仕組みや福祉ニーズを正しく理解し、国際社会の一員として適切な支援の在り方を論理的に提案できる。</p> <p>③外国籍児特有の配慮事項を正確に把握し、小学校接続を意識した具体的な支援策を適切に立案できる。</p> <p>④ITスキルと専門知識を適切に組み合わせ、海外研修や実習を想定した論理的で主体的な活動計画を作成できる。</p>	<p>B (良)</p> <p>①教育思想や日本の現状について基本的な知識を持ち、多文化共生保育の意義を概ね説明できる。</p> <p>②在日外国人の動向や行政支援の基本を理解し、標準的な支援の在り方について自身の意見を述べるができる。</p> <p>③言語や宗教等の配慮事項を理解し、園での基本的な支援策や小学校との連携の在り方を検討・作成できる。</p> <p>④ITツールを活用して情報収集や教材作成を行い、標準的な活動プランをコーディネートできる。</p> <p>C (可)</p> <p>①講義で学んだ用語を用いて、多文化共生保育の概念を最低限説明できる。</p> <p>②行政や福祉の基本的な枠組みについて、知識として理解している。</p> <p>③外国籍児への配慮の必要性を理解し、示された事例に沿った基本的な支援方法を記述できる。</p> <p>④計画の作成：指定されたITツールを使用し、海外研修や実習に向けた基本的な活動計画の体裁を整えることができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 多文化共生保育・教育 の概念ととは何かを理 解する。	講義 グループワーク Google classroomにて 課題、フィードバック	多文化共生保育・教育 の概念と多様性尊重の 理念を理解できる。	(予習) 多文化共生保 育とは何かを調べる。 (復習) 多様性を受け 入れるための保育者と しての役割についてま とめる。	180	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	ニュージーランドの保 育とラーニングストー リー ナショナルカリキュラ ムとしての「テ・ファ リキ」を理解する。	講義 グループワーク Google classroomにて 課題、フィードバック	ニュージーランドの保 育とラーニングストー リーについて理解でき る。 「テ・ファリキ」につ いて理解できる。	(予習) ニュージーラ ンドについて保育の形 態について調べる。 (復習) ラーニングス トーリーを作成する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	外国籍の子どもがいる クラス運営と保育者の 役割についての事例検 討	演習 グループワーク Google classroomにて 課題、フィードバック	外国籍の子どもが在籍 するクラスの運営につ いて理解できる。 自分の考えを発表でき る。	(予習) 世界の子育て の特徴について調べ る。 (復習) 学び(振り返 り)レポートの作成。	180	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	在日外国人の動向と福 祉ニーズ	講義 グループワーク ICTを活用した調査	保育所に在籍している 外国人幼児等に関する 動向や、彼らとその保 護者が抱える福祉ニ ーズについて理解でき る。	(予習) 在日外国人の 定義を調べる。 (復習) 外国人幼児と その保護者等の福祉 ニーズを整理する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	日本における行政の多 文化共生への取り組み	講義 グループワーク 発表 ICTを活用した 調査	日本における国や地方 自治体による多文化共 生への取り組みにつ いて知り、地域社会にお ける多文化共生の課題 を整理できる。	(予習) 身近な地域で の行政による多文化共 生への取り組みを見つ ける。 (復習) 行政による多 文化共生への様々な取 り組みを整理する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	世界の子育て支援と園 生活の現状	講義 グループワーク ICTを活用した調査 動画視聴	世界の子育て支援や園 生活の現状を理解し、 日本における在日外国 人幼児やその保護者ら への支援や関わりの在 り方を考えることがで きる。	(予習) 日本における 子育て支援の現状につ いて調べる。 (復習) 日本における 在日外国人幼児やその 保護者らへの支援や関 わりの在り方を整理す る。	180	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	世界の教育方法	講義 グループワーク 動画視聴	乳幼児を中心としたモン テッソーリ・メソッドや レッジョ・エミリア・ア プローチといった、世界の特 徴のある教育(保育)方法 について学び、自らの視野 を広げるとともに、多様な 価値観や教育保育文化で生 活する人々への理解を深め ることができる。	(予習) これまでに学 習した教育(保育)方 法を確認する。 (復習) 学び(振り返 り)レポートを作成す る。	180	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	在日外国児童生徒の問 題	講義 演習	在日外国児童生徒及び 彼らを教育する学校の 抱える諸問題について 理解し、その解決方法 を模索することができる。	(予習) 提示資料を読 み、その内容を理解す る。 (復習) 本時の学びを 振り返り、考察をまと める。(Google Classroomに提出)	180	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	在日外国児童生徒への学習指導	講義 演習 授業VTR 視聴 協議	公立小学校で行われている外国児童への日本語指導を始めとする学習指導の現状と課題について理解することができる。	(予習) 提示資料を読み、その内容を理解する。 (復習) 本時の学びを振り返り、考察をまとめる。(Google Classroomに提出)	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	日本語と関連させての英語指導	講義 演習	日本語と関連させた英語指導の方法について理解することができる。	(予習) 提示資料を読み、その内容を理解する。 (復習) 本時の学びを振り返り、考察をまとめる。(Google Classroomに提出)	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	海外保育留学プラン作成① 世界の保育と子育てについて情報を収集してまとめる。	演習 Google classroomにて課題、フィードバック notebook LM	世界の保育と子育てについて情報を収集することができる。	(予習) 留学プラン作成のための国を選定してくる。 (復習) 留学する国の法律、渡航について調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	海外保育留学プラン作成②(シミュレーション)	演習 Google classroomにて課題、フィードバック	海外保育留学のプランを作成できる。	(予習) ICTを活用して企画書の作成 (復習) 留学のてびきを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	海外保育留学プラン作成③発表 作成した留学プランをプレゼンテーションする。	演習 Google classroomにて課題、フィードバック 発表	企画した留学をプレゼンテーションすることができる。	(予習) プレゼンテーションの準備をする。 (復習) 振り返りの記入	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	海外保育留学プラン作成④振り返り	演習 Google classroomにて課題、フィードバック グループワーク ディスカッション	自身の留学企画とプレゼンテーションの内容を振り返ることができる。	(予習) 他者評価の内容をまとめる。 (復習) 海外の保育施設での保育実践について考える。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	海外の保育所での模擬保育の指導案立案とまとめ	演習 Google classroomにて課題(指導案)の提出、フィードバック	海外での保育実践を考え、指導計画を立案することができる。	(予習) 指導案の下書きをする。 (復習) 指導案を完成させる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力